

平成26年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
1	災害廃棄物の中間処理と可燃物の焼却	4.4	A	早期の完了を期待します。
2	常磐自動車道の早期開通・4車線化、相馬福島道路の早期完成	4.6	A	相馬市復興のカギを握る事業と思われるので、一日も早い開通を望みます。
3	高速バスの運行（県事業）	4.6	A	積極的なPRを行い、事業の継続を強く望みます。
4	雨水の排水対策	4.4	A	松川浦からの海水だけでなく、陸側からの雨水にも対応できるよう、施設の早期完成を望みます。
5	災害危険区域の土地利用	4.3	A	活用方法を早めに市民に示し、民意を得ての土地利用となるようお願いします。
6	住居移転の促進	4.6	A	すべての移転が一日でも短縮できるよう願っております。
7	災害公営住宅の整備	4.8	A	入居希望者が一日でも早く暮らせるように早期整備をお願いします。
8	避難道路の整備	4.6	A	誰でもがはっきりわかる誘導標識の早期整備を期待します。
9	公園の整備	4.2	A	子どもたちの安全に配慮し、現代の形に添うような整備を期待します。
10	組長戸長制度による仮設住宅のマネジメント	4.5	A	今後の状況変化に応じた体制や制度の整備が必要と思われます。
11	被災した障がい者の健康訪問チェック	4.4	A	社会福祉法人やNPO法人、ボランティア団体との連携を行い、障害者の不安を払しょくするための支援の継続をお願いします。
12	被災者の継続的な健康診断と健康相談会	4.0	A	受診率向上を図るなど、事業の再検証が必要と考えます。
13	玉野地区住民の継続的な健康診断	4.1	A	受診率の向上を図り、今後も継続する制度となることを希望します。
14	ワンストップサービスでの無料困りごと相談・法律相談	3.9	B	積極的にPRし、事業を継続してください。
15	被災児童等のための放課後児童クラブの運営	4.3	A	市民の意見を取り入れ、「放課後児童クラブ」の有り方を見直すことが必要です。
16	応急仮設住宅等の災害弱者支援及びPTSD対策のための情報交換	4.2	A	応急仮設住宅廃止後においても適切な情報交換の場を作り、継続した対応を今後も強く望みます。
17	おでかけバスの運行	4.3	A	地域の現状を把握し、運行経路や時間帯の見直しを行い、利便性の向上に努めてください。
18	交通弱者、買い物弱者への買い物支援	4.2	A	交通弱者、買い物弱者の援助策として継続し、利便性の向上に努めてください。
19	相馬井戸端長屋での生活支援	4.4	A	常に問題意識を持ち、それを解決する支援体制の継続をお願いします。
20	応急仮設住宅での買い物支援と災害弱者の安否確認	4.2	A	他の施策との統合や見直しを含め、柔軟に対応できるよう検討をお願いします。
21	応急仮設住宅災害弱者への夕食提供	4.0	A	支援の範囲と終了時期の検討をしてください。
22	一人暮らし高齢者宅への声かけ訪問と昼食宅配	3.8	B	他の団体が行っている施策との調整や必要とする人の絞り込みなどの再検討をお願いします。さらなる事業の向上を目指してください。
23	放射線教育	4.3	A	正しい知識と理解力を持つことが必要なので、今年度の実施状況の検証、改善を行い、継続的な取り組みをお願いします。
24	除染の計画と実施	4.5	A	県、国の手の届かないところに目配りをしてきめの細かい事業の遂行を願います。

平成26年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
25	妊婦、中学生以下の外部被ばく線量測定	4.5	A	受診率の向上を図り、関係機関と協力の上、継続して事業を推し進めてください。
26	リアルタイム自動空間線量測定	4.4	A	機器の管理を行い、データの取得を継続的に行っていく必要があると考えます。
27	学校施設の空間線量の測定	4.3	A	データの管理と活用を適正に行い、測定結果の公表と安全対策を講じてください。
28	学校給食での放射性物質測定	4.8	A	将来に備え、機器の故障などに備える対策を行い、安全性の確保に十分配慮してください。
29	ホールボディカウンターによる市民の内部被ばく検診	4.5	A	受診率の向上を目指し継続して取り組んでください。
30	甲状腺対策	4.5	A	長期に渡り、市として積極的に事業を遂行してください。
31	学校施設での放射性物質の除染	4.4	A	除染後の環境保全に留意し、強風の日には児童・生徒へ登下校時にマスク着用を促すようなきめ細やかな事業の遂行を望みます。
32	生活領域での放射性物質の除染	4.4	A	ホットスポットの除染を重点的にそして迅速に行ってください。
33	玉野地区の農地除染	4.3	A	市民の安心のために精力的な取り組みを望みます。
34	放射性物質汚染土砂等の仮置	4.3	A	最終処分地が確定するまでの間、地域の安全性を確保しながら実施してください。
35	NPOと連携した心のケア	4.4	A	長期的視野に立ち、継続して体制を維持してください。
36	中学校ICT機器の導入	3.8	B	機器を使用できる教員の育成に取り組み、効果が出るよう工夫をお願いします。
37	学力向上を目的とした学校提案型授業等への支援	4.2	A	相馬市が教育都市となるよう現状を把握し、そこを補うような長期の計画が必要であると考えます。
38	学力向上のための市独自の講師雇用	4.3	A	相馬市が教育都市となるよう市独自の事業として積極的に取り組んで欲しい。
39	LVMH子どもアート・メソンの活用	4.0	A	ソフト面での工夫をこらして積極的にPRを行い、利活用方法の検討を行ってください。
40	中学生の学力向上・学習を支援する「相馬寺子屋」の開催	4.2	A	対象を見直しし、市全体の学力向上、学習支援に移行できるように事業の見直しを要望します。
41	エルンステマとの連携による小中学生の健やかな教育の支援	4.3	A	今後の支援の打ち切りに備え、市として対策を講じ、事業を継続してください。
42	中村第一中学校屋内運動場の改築	4.1	A	市の施設の管理の在り方を検討してください。
43	子ども公民館の建設と運営	4.0	A	運営方法に工夫し、放課後児童クラブと世代間交流事業が確実に実行されるよう期待します。
44	農業用機械の運用体制支援	3.8	B	最終目標を明確にし、メンテナンス費用の負担など制度の見直しを検討してください。
45	いちご水耕栽培施設の利活用	4.3	A	ブランド化も含め、6次産業化への取り組み支援を積極的に実施してください。
46	ほ場整備を含む農地の災害復旧	4.2	A	農地の集約化を図り農地の賃貸借等を進めて若者に魅力ある農業となるように整備を進めてください。
47	松川浦漁港共同利用施設の復興整備	4.4	A	風評被害との関係もありますが、本格的な操業再開に向け、早期整備を期待します。
48	水産加工流通施設の整備	4.4	A	漁業の再開時期に間に合うように整備をお願いします。

平成26年度 事務事業外部評価結果 集計表

A：事業をさらに推進することが妥当（評価点 4.0以上）

B：事業を現状のまま継続することが妥当（評価点 3.0～3.9）

C：事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要（評価点 2.0～2.9）

D：事業の見直し・休止・廃止について検討が必要（評価点 1.9以下）

評価点は、7名の委員がそれぞれ妥当性、効率性などについて各事務事業ごとに5点満点で評価したものの平均です。

登録No.	事務事業名	評価点	委員会評価	コメント
49	中小企業等への支援	3.5	B	企業の進出を促す手段として他の制度も含め、補助制度のさらなる活用のため、中小企業等の事業者に対し周知を徹底してください。
50	相馬港の利活用促進	4.1	A	常磐高速道路の開通により港への交通網が少しずつでも充実しつつある中、仙台、小名浜間の中間港としての重要性は期待されるため、事業のさらなる拡大を期待します。
51	中核工業団地等への企業誘致	3.6	B	仮設住宅の統合などの課題を早急に解決して常磐高速道路や相馬港の利便性のPRなど、事業を強力に推進してください。
52	防災拡声器・防災カメラ等の整備	4.7	A	非常時のバックアップ体制の検討を早急に行ってください。
53	各地区防災拠点の整備及び自主防災活動の強化	4.5	A	地域防災の拠点として地域に密着した利活用ができるように各団体との意思疎通を行い、非常時に対応できる方策を検討してください。
54	復興交流支援センターの整備及び活用	4.4	A	有事の際の避難所として有効と思われるため、日常の管理を徹底してほしいと思います。
55	市庁舎の建設	4.5	A	市の総ての業務の中核であるので、市民に開かれた施設としての早期完成を望みます。
56	歴史資料収蔵館の整備と利活用	4.4	A	「文化」は地域の財産であることを念頭に置き、教育施設での利用や企画展、常設展の開催も含め、多くの市民が入りやすい利活用方法を期待します。
57	郷土蔵の建設と利活用	4.4	A	相馬の特徴を生かし、教育施設としての利用も含め、利用者の増加のために企画運営の工夫が必要だと思います。
58	光陽サッカー場の整備	4.4	A	市外へ積極的にPRし、市内の宿泊施設や維持管理団体との連携をしながら利用者を増やす工夫が必要だと思います。長期管理に対する運営・管理費の再考をお願いします。
59	光陽ソフトボール場の改修と利活用	4.2	A	市外へ積極的にPRし、市内の宿泊施設や維持管理団体との連携をしながら利用者を増やす工夫が必要だと思います。長期管理に対する運営・管理費の再考をお願いします。
60	市民屋内温水プールの建設	3.9	B	市民の健康増進、体力向上に寄与する施設として早期の建設を期待します。
61	音楽を通じた相馬ブランド回復活動への支援	3.8	B	エル・システムとの連携を含め相馬ブランドの一つとして総合的な見地から事業を進めてください。
62	後世の伝達のための資料収集と中間報告の発行	4.1	A	口承伝説や古文書などの資料を収集して市民の目に触れるような報告書の作成を希望します。
63	伝承鎮魂祈念館の整備	4.2	A	周辺的美観にも配慮し、建設後のメンテナンスや運営に工夫をしてください。
64	再生可能エネルギーの活用策の検討とモデル事業の実施	3.9	B	市の施設にも積極的に活用し、今後の国の方針を見ながら事業の普及を検討してください。
65	新たな公共施設への太陽光発電設備の導入	4.3	A	積極的に活用し、自己で使用できるエネルギー源として利用を推進してください。
66	住宅用太陽光発電システム設置への補助	4.2	A	導入を促すように情報提供をし、取組みを促進してください。
67	防犯灯、外灯のLED化	4.6	A	省エネの点からも積極的に進め、早急な対応をお願いします。
68	防災協定締結都市との交流連携	4.2	A	共助体制の強化を行い、市民が知る機会を増やすなど、認知度の改善をお願いします。
69	観光交流の推進	4.2	A	観光資源の再開発やPRの目標設定等の課題を解決し、事業を推進していくべきであろうと考えます。
70	地域間交流による風評被害払拭・相馬復興のための活動への支援	4.1	A	風評被害払拭の具体的な方策を検討し、ブランドイメージ回復の活動を行ってください。
71	そうま花火大会と復興交流イベントの開催	4.2	A	工夫を凝らし、夏のイベントとして定着していくことを期待します。
72	千客万来館の建設	4.0	A	新たな観光拠点として交流人口を増やし、「観光そうま」を目指すことが必要と考えます。